

東北森林管理局

指導普及課だより

号外 (特集号)

発行日 平成23年2月25日

郵便番号 010-8550

電話番号 050-3160-6456

住所 秋田市中通5丁目9-16

2年振りに局で開催

平成22年度森林・林業技術交流発表会

～発表数は昨年と同じ35課題～

平成22年度森林・林業技術交流発表会が2月3～4日の両日、2年振りに局大会議室で開催されました。耐震工事により昨年まで民間施設での開催でしたが、リニューアルされた大会議室は、とても明るく真新しい木の香りが心地よいホールに生まれ変わり、2日間で延べ400人の方々が足を運んで下さり、過去最多の入場者となりました。

この発表会は、森林・林業等の技術の普及・向上及び関係者の技術交流の推進への寄与を目的としているもので、一般の部では森林技術部門25課題、森林ふれあい部門5課題及び国民の森林部門2課題の発表を行い、中学・高校の部では宮城県名取市立関上中学校、青森県立五所川原農林高校、岩手県立盛岡農業高校の3校が参加し、昨年と同じ35課題について日頃の取組の成果が発表されました。

また、森林総合研究所東北支所の岡本隆さんが「積雪地域における地すべり変動の観測」、

林木育種センター東北育種場の星比呂志さんが

「低コスト林業に向けた林木育種の取組状況～

儲かる林業の実現に向けて～」、岩手県林業技術

センターの蓬田英俊さんが「岩手県におけるマツ

ノザイセンチュウ抵抗性

育種と種子生産」、山形

県森林研究研修センター

の齊藤正一さんが「カツ

ラマルカイガラムシによ



森林技術部門で最優秀賞に
輝いた岩手南部署 中里さん



会場は発表を聞く傍聴者でいっぱい



2011・国際森林年

る広葉樹被害と防除法」の特別発表を行いました。

特別講演は、森林総合研究所の牧野俊一さんによるメインテーマ「拡大するナラ枯れ—被害の予測と新しい防除法—」について、森林総合研究所九州支所の近藤洋史さんが「防除対策に役立つ被害発生予測マップ」、森林総合研究所関西支所の衣浦晴生さんが「虫と木の性質を利用した新しい防除法」をそれぞれご講演いただきました。

東北森林管理局長挨拶

矢部局長は、「年に一度の発表会ですが、森林・林業に携わる者、常に技術合理性に立脚した森林づくりを心がけ、山を歩きながらその技術の研鑽を積み高め、問題の処理に当たっていくことが重要かと思う。今年は、国連の定めた「国際森林年」であり、日本のテーマは「森を歩く」ということになっております。私ども技術者がこれまでをしっかりと反省し、森林を歩かなければならぬと思っています。この発表会がもう一度、その原点に戻り森林（やま）を歩くきっかけになればと思います。発表される方々は日常の仕事の中で研鑽を積まれたその集大成であり、自信を持って発表頂きたい。本発表会を通じて今後の業務へのフィードバックに努め、益々発展されることを祈念します。」と挨拶しました。



開会式で挨拶をする矢部局長



来賓で挨拶を述べる伊藤支部長

来賓挨拶

多数の来賓の方々を代表して日本森林林業振興会青森・秋田支部の伊藤広一支部長から森林・林業技術交流発表会に対する期待と激励のご挨拶がありました。

発表（一般の部、中学・高校の部）

1日目は26課題発表。「森林技術部門」では、低コスト造林方法、緑の回廊の機能回復、森林・林業再生、ナラ枯れ被害対策、間伐材の有利販売、ヒバ・広葉樹混交林施業、猛禽類対策、地すべり復旧工事や海岸砂防林などの発表がありました。

「森林ふれあい部門」では、森林環境教育の取組、森林環境教育リーダーの育成、里山林の保全活動、木質バイオマスの利用などの発表がありました。

昨年度から設けられた「国民の森林部門」では、事業体における人材育成の取組の発表がありました。

また、「中学・高校の部」では、常連校の五所川原農林高校、盛岡農業高校の2校のほか、中学校としては3年振りの発表となる宮城県名取市立関上中学校が発表。各校とも日頃の学習や調査研究の成果を堂々と発表しました。



発表する関上中学校の皆さん

2日目は9課題発表。「森林技術部門」では、クマハギ防除対策、ウエツキブナハムシ被害、生態系・景観に配慮した治山工事などの発表がありました。

「森林ふれあい部門」では、ボランティア団体の万里の松原に親しむ会から日ごろの取組に



ついて発表がありました。

「国民の森林部門」では、立木販売・素材生産における森林所有者の満足度などについての発表がありました。

今年の発表会は広範多岐の内容となり、発表に対し様々な質問が寄せられ、傍聴者の関心の高さがうかがわれました。

森林ふれあい部門優秀賞：海岸林の森林保全活動
について発表する万里の松原に親しむ会の三沢さん

審査結果

審査委員長の澤口勇雄岩手大学教授から「総評と森林ふれあい部門、中学・高校の部」について、蒔田明史秋田県立大学教授から「森林技術部門」について、平野



特別講演をする森林総研の牧野さん(右)

計画部長から「国民の森林部門」について講評があり、最後に高橋指導普及課長が審査結果を発表しました。

東北森林管理局長賞の最優秀賞は、森林技術部門では「岩手・宮城内陸地震市野々原地すべり復旧工事における現地発生材の活用とその効果」を発表した岩手南部森林管理署の中里郁恵さんが受賞。森林ふれあい部門では「妖精の住む森を利用した森林環境教育リーダーの育成について」を発表した岩手北部森林管理署の田口暁史さんと木村雄大さんが受賞。国民の森林部門では「立木販売・素材生産における森林所有者の満足度等に関する調査」を発表した局計画課安藤菜穂さん他3名が受賞しました。

また、中学・高校の部では「ヤママユガ(天蚕)の繁殖と利用に関する研究～第一報～」を発表した盛岡農業高校が優秀賞を受賞しました。



← 森林技術部門優秀賞：山形大学 清野さん



← 国民の森林部門最優秀賞：局計画課安藤さん



中学・高校の部優秀賞：盛岡農業高校の皆さん



森林ふれあい部門最優秀賞：岩手北部署職員の皆さん
(カラマツ体操実演)

平成22年度 森林・林業技術交流発表会 課題名と発表者及び審査結果

発表部門	発表課題名	発表機関	発表者氏名	表彰
一般の部	スギ大苗を使用した低コスト造林方法の一考察	東北森林管理局森林技術センター	木村正彦	
	「土湯の森」緑の回廊の機能回復に向けて —その経過報告Ⅱ—	東北森林管理局朝日庄内森林環境 保全ふれあいセンター	瀬高孝男	
	スギ人工林における自然再生に向けた取り組みの一考察	東北森林管理局津軽白神森林環境 保全ふれあいセンター	山上裕行	
	ヒバの巣植えによるヒバ・広葉樹混交林施業の確立 —試験地の施業経過と今後の取り組み—	東北森林管理局森林技術センター	田畑良輝	
	仁鮎水沢における天然秋田スギ個体の成長—樹冠形状、 土壌条件及び局所密度の空間異質性に着目して—	秋田県立大学	石川雄一 井上みずき 星崎和彦 蒔田明史	
	「山本地域における林地残材利用の取組みについて」	秋田県山本地域振興局農林部森づく り推進課	佐藤正仁	
	鳥海山におけるフナを主とした広葉樹施業箇所の生育状 況について	由利森林管理署	高橋友和 他2名	
	スギ高齢級人工林の評価—樹冠長と年輪幅に注目して—	米代東部森林管理署 東北森林管理局指導普及課	徳原清樹 高橋弘美	奨励賞
	猛禽類の餌場環境の改善のため実施した列状間伐につ いて	岩手南部森林管理署 国土交通省東北地方整備局	片井直樹 中嶋 稔	
	『天然スギ大鱗特異形質遺伝子』の保存の取り組みにつ いて	津軽森林管理署	坂本 誠 島山 集	奨励賞
	岩手・宮城内陸地震 市野々原地すべり復旧工事におけ る現地発生材の活用とその効果	岩手南部森林管理署	中里郁恵	最優秀賞
	海岸防災林における造成手法の検討	庄内森林管理署	水村年一	奨励賞
	水源林造成事業におけるコンテナ苗(スギ)植栽について —低コスト造林に向けた取り組み—	森林総合研究所森林農地整備セン ター—東北北海道整備局	中原健一 石垣浩司	
	位置情報付写真の活用について	青森森林管理署	渡辺貞幸 後藤孝之	
	北上高地のイヌワシと生物多様性保全を目的とした等高 線方向列状間伐の効果	三陸中部森林管理署	盛 一樹 他4名	奨励賞
	民国連携による間伐材の有利販売について	上北森林組合 三八上北森林管理署	相内 貢 三浦利樹	林政記者 クラブ賞
	ナラ枯れ被害防除に向けた取組	宮城県大河原地方振興事務所林業 振興部	佐藤隆之	
	森林・林業再生プラン(山形森林管理署にあてはめた将 来の展望)	山形森林管理署	佐野恭子	奨励賞
	下北地域におけるクマハギ防除対策の取組み	青森県下北地域県民局地域農林水 産部林業振興課	春田嘉奈子	奨励賞
	生態系・景観に配慮した治山工事について —植物誘導吹付工の効果と課題—	下北森林管理署	三瓶広幸	
	フナの豊凶を左右する個体ごとの性質 —気温に対する開花応答の違い—	山形大学農学部生物環境学科	須藤泰典 小山浩正 高橋教夫	
	フナに対するウエツキブナハムシの被害程度と開花頻度 の関係 —防衛と繁殖のトレード・オフ—	山形大学農学部生物環境学科	清野陽介 小山浩正 高橋教夫	優秀賞
	5m幅列状間伐のうっぺい速度について	宮城北部森林管理署	山田祥五 高橋 進 細川 斉	
	低コスト造林普及・定着のためのコンテナ苗植栽実証調 査の結果について	仙台森林管理署	千葉大輔	
	岩大式森林作業道の路面・路体支持力の経年変化	岩手大学農学部附属寒冷フィールド サイエンス教育研究センター	高橋健保 他5名	奨励賞
	森林ふれあい部門	白神山における森林環境教育の新たな取組と子ども達 の現状	東北森林管理局藤里森林センター	安田大地
妖精の住む森を利用した森林環境教育リーダーの育成に ついて		岩手北部森林管理署	田口暁史 木村雄大	最優秀賞
里山林の保全活動における地域社会と環境教育		成澤グリーンフィールド協力隊	相馬清孝	
木質バイオマスのエネルギー利用に向けた取組み		山形県最上総合支庁産業経済部森 林整備課	齋藤孝浩	
子どもと大人”松林協働”10年の歩み	万里の松原に親しむ会	三沢英一	優秀賞	
国民の森林部門	素材生産事業体における人材育成の取組に関する調査	東北森林管理局販売課	島山 悟 後藤昭吾 細田雄一	
	立木販売・素材生産における森林所有者の満足度等に関 する調査	東北森林管理局計画課	安藤菜穂 劔持直樹 香川直樹 見市貴司	最優秀賞
中学・高等学校の部	「ヤマユガ(天蚕)」の繁殖と利用に関する研究～第一 報～	岩手県立盛岡農業高等学校	亀山俊哉 火石恵梨 他5名	優秀賞
	生活会が中心となった環境整備活動 ～ゆりりん整備作業等を通して～	宮城県名取市立関上中学校	佐々木和海 相原碧人	奨励賞
	生物生態系の復元と課題	青森県立五所川原農林高等学校	永野慎吾 三浦裕太郎 森本光星	奨励賞
特別発表	積雪地域における地すべり変動の観測	森林総合研究所東北支所	岡本 隆	
	低コスト林業に向けた林木育種の取組状況 ～儲かる林業の実現に向けて～	森林総合研究所林木育種センター東 北育種場	星比呂志 織部雄一朗 宮下智弘	
	岩手県におけるマツノザイセンチュウ抵抗性育種と種子生 産	岩手県林業技術センター	蓬田英俊	
	カツラマルカイガラムシによる広葉樹被害と防除法	山形県森林研究研修センター	齊藤正一	
特別講演	メインテーマ 「拡大するナラ枯れ—被害の予測と新しい防除法—」	森林総合研究所 名古屋大学	牧野俊一 肘井直樹	
	テーマ1「防除対策に役立つ被害発生予測マップ」	森林総合研究所九州支所	近藤洋史	
	テーマ2「虫と木の性質を利用した新しい防除法」	森林総合研究所関西支所	衣浦晴生	